



◀ 激励メッセージを贈る1年生

6月13日、佐賀県立産業技術学院で、来春就職予定の2年生が就職出陣式に臨みました。

この出陣式は3年前から行われており、織田良範学院長は「これまで培ったものに自信をもち、夢の実現に向かってほしい」と訓辞。第8回若年者ものづくり競技大会で全国3位に輝いた学院生代表の木下元気さんは「就職戦線に勝ち抜きます」と宣誓しました。

同学院は、平成8年に設置され、18歳から29歳までの離・転職者や新卒の学生に建築設計や機械技術などの知識や技能を習得させ、時代のニーズにあった実践的技術者を育成しています。

学院生は、互いに切磋琢磨しながら有用な人材になるべく、日々技能・技術の習得に励み、3年連続での就職率100%を目指します。

佐賀県立産業技術学院就職出陣式

めざせ就職率100%、一致団結、出陣式！

5月23日に佐賀県庁で厚生労働大臣特別表彰の伝達式が行われ、池田洋さん（東多久町古賀二区東）が受賞されました。

池田さんは、平成10年12月から民生委員児童委員として、15年の長きにわたり社会福祉の増進に貢献されました。

また、平成13年からは、東多久町民生委員児童委員会の副会長、多久市民生委員児童委員連絡協議会の監事としても地域福祉の最前線で、住民の立場に立った相談・援助に努められた功績が高く評価され、今回の受賞に至りました。

「印象的な人との貴重な出会いに感謝しています。後悔のない委員時代を送ることができたのも、まわりのみなさんのおかげだった。特に妻には感謝しています」とこれまでを振り返り、懐かしそうに語られました。

民生委員児童委員として一番大変だったことは、「人との信頼関係の上で、しっかりその人のことを考え、いい方向へ向かうよう説得することが非常に大変だった。しかし、苦労は苦労でも、損をしたことはなにもなかった。思い起こせば、人生の糧になる活動でした」と話されました。

▶ 厚生労働大臣特別表彰を受賞された池田さん



地域福祉の最前線での長年の功績を称え表彰

厚生労働大臣特別表彰おめでとございます

6/2 Mon.

水難事故を想定し災害警備訓練



なかはらとしあき

大雨による水難事故を想定した災害警備訓練が牛津川（牟田辺遊水地）で小城警察署員のほか、航空隊、機動隊、多久消防署員ら35人が参加し行われました。

主催者を代表し、中原利明小城警察署長が「訓練は、災害への対処能力の向上、関係機関との連携が重要で、訓練のための訓練にならないように」とあいさつ。県警ヘリでの水難者捜索や救助、ボートやレスキューロケットによる救助など実践さながらの緊迫した訓練が行われ、大雨を前に装備や関係機関との連携などを確認しました。

5/30 Fri.

『前川清の笑顔まんてんタビ好き』ロケin多久



毎週日曜日のお昼からKBC九州朝日放送で放送されている『前川清の笑顔まんてんタビ好き』の収録が、多久市内で行われました。

『旅手形』に記されたキーワードを頼りに、歌手の前川清さんとお笑いコンビWエンジンのえとう窓口さんが、地元のみなさんとのふれあいや、思わぬ発見など、とびっきりの笑顔と出会う“ぶっつけ本番”の旅番組です。今回は新緑が鮮やかな多久町の西溪公園でオープニングがスタート。その後北多久町の京町商店街など市内各所を巡り、撮影が行われました。